

目次

- ・「概要 ⇒ 現状 ⇒ 課題 ⇒ 取組内容」という流れになるように順番を見直した。
また、章立てのレベル感の見直しを行った。

現行

- はじめに
- 第1章 第2次仁淀川清流保全計画の策定にあたって
 - 1-1 第1次仁淀川清流保全計画策定の経緯と成果
 - 1-2 第2次仁淀川清流保全計画の策定の必要性和見直しについて
 - 1-3 策定フロー
- 第2章 仁淀川の概要
 - 2-1 仁淀川とは
 - 2-2 現状
 - 2-3 主要な課題
- 第3章 第2次仁淀川清流保全計画の基本的な考え方
- 第4章 計画期間の設定
- 第5章 対象水域及び流域
- 第6章 仁淀川の目指す将来像と取組内容
- 第7章 計画の推進体制

改正案

- 第1章 仁淀川の概要
- 第2章 仁淀川の現状
- 第3章 仁淀川清流保全計画
 - 3-1 仁淀川清流保全計画策定の趣旨
 - 3-2 経緯
 - 第1次仁淀川清流保全計画の策定
 - 第2次仁淀川清流保全計画の策定の必要性和見直しについて
 - 第2次仁淀川清流保全計画策定の策定フロー
 - 3-3 第2次仁淀川清流保全計画の基本方針及び理念
 - 3-4 対象水域及び流域
 - 3-5 仁淀川の目指す将来像と取組内容
 - 3-6 第2次仁淀川清流保全計画の位置付け
 - 3-7 計画期間と進捗管理
 - (1) 計画期間
 - (2) 進捗管理
- 第4章 取組内容 (略)
- 第5章 計画の推進
 - 5-1 計画推進体制
 - 5-2 これまでの取組
- コラム

- ・「コラム」は別立てにし、タイトルを記載した。

仁淀川清流保全計画改訂内容

本文全体に共通する改訂内容

- ・本文と図との関係がわかりやすくなるように、図表番号を追加するとともに、関係する文末にかっこ書きで図表番号を記載
- ・出典元の詳細に記載
- ・年の表記を元号のみから西暦と元号の併記に変更
- ・詳細な内容を後述する場合は、関係がわかりやすくなるように本文中に「（「第〇章 〇〇〇〇」を参照）」と記載

第1章 仁淀川の概要

- ・P1 「図1-1 仁淀川水系流域図」を追加
- ・P2 「表1-2 仁淀川（加田地点）における平均流況表」「図1-3 仁淀川（加田地点）の流況」を最新データに変更
- ・P2～3 仁淀川の特徴である石と関係する【流域の地質】を追加

第2章 仁淀川の現状

- ・P4 「表2-2 国土交通省直轄管理区間の夏季水遊び利用者数」を直近の調査3回分のデータに変更
- ・P5、6 「数多くの歴史・文化が存在します。」を【数多くの歴史・土木遺産が存在します】【数多くの水文化が存在します】に分割し、それぞれ加筆した。
- ・P7 「土佐の名水」「日本の滝百選」「名水百選」の注釈を追加
- ・P8～10 【動植物の生息・生育状況】を追加

第3章 仁淀川清流保全計画

- ・P11 「第1次仁淀川清流保全計画の策定の経緯と成果」のうち、第2次仁淀川清流保全計画にも共通する事項を抜き出して「仁淀川清流保全計画の策定の趣旨」とした。
- ・P11 【第1次仁淀川清流保全計画の検証】の内容を整理し、「第1次仁淀川清流保全計画の策定の経緯と成果」に加えた。
- ・P12 本文中に主要な課題を盛り込み、第2次仁淀川清流保全計画の策定の必要性がわかりやすくなるように整理
- ・P12 「図3-1 新たな課題と目標とする将来像」の「仁淀川清流保全推進協議会の設置」を「課題と目標とする将来像」に変更するとともに「協議会を立ち上げ、仁淀川の「将来像」を目指して清流保全に取り組みます」を削除。
なお、基本方針と基本理念（キャッチフレーズ）は別途項目立てした（P14）。
- ・P13 本文中にワーキンググループで検討した結果を踏まえることを追加
- ・P13 「図3-2 計画（策定）までの流れ」に全体会、部会、ワーキンググループのそれぞれの役割、関係性がわかる図に差し替えた。また、「パブリックコメント」の実施を追加
- ・P16 本文中に重点項目の説明を追加するとともに、図中にマークを表示した。
- ・P16 取組項目を現状に合わせて修正・再整理を行った（詳細は「第4章 取組内容」）
- ・P17 「第2次仁淀川清流保全計画の位置付け」を新設し、国の施策、県の条例及び計画等との関係の説明を追加
- ・P18 「計画期間の設定」を「計画期間と進捗管理」に変更し、進捗管理をどのように実施していくのかを項目立てして記載

仁淀川清流保全計画改訂内容

第4章 取組内容

【全般】

- ・テーマごとに「現状と課題」「施策の基本方向」「取組」「取組内容と進捗」「期待される効果」の順で記載
- ・仁淀川の現状や流域団体の取組等をわかりやすく伝えられるようコラム形式で紹介
- ・実施する具体的な取組内容に合わせて「期待される効果」を見直し
- ・事例及び写真データを最新のものに差し替え

テーマ：子どもたちを川へ呼び戻す

- ・P19 「図4-1 仁淀川で遊んだ割合」に平成30年度に調査した結果を追加
- ・P20 「川にふれ合う行事の実施及び情報発信」を取組として追加。また、流域で川にふれ合う行事を行っている団体からPRについての悩みも寄せられたことから、広報媒体の活用方法の整理及び団体等への提供に取組むことを記載
- ・「子どもたちの水生生物・水生植物の生息調査や水質調査への参加機会の拡大」を「仁淀川学習」プログラム開発及び実施」「学校での環境学習や川に親しむ機会づくりへの支援」に統合
- ・P21 「仁淀川学習」プログラム開発及び実施」を新規の取組として追加
水生生物調査だけでなく、水文化やごみ問題などをプログラムとして開発し、実施することで川にふれ合う行事の充実を図る。また、プログラム開発にあたっては、流域内の講師の発掘を合わせて実施する。
なお、さまざまな分野に関するプログラムを作成することから、他のテーマでも取組項目に「再掲」で加える。
- ・P21 水生生物によってなぜ川のきれいさがわかるのかをわかりやすく伝えるために、【コラム 水生生物による水質判定方法】を追加
- ・P22 「安全・安心で快適な水辺空間の整備」を「安全・安心で楽しい水辺活動の推進」に変更。
平成29年度から開始した「RAC川の安全教室in仁淀川」の実施による指導者育成」「指導者間の連携への支援」「子ども水辺安全講座の実施」「仁淀川流域向け入門編の実施」を取組として加えた。
- ・P23 P19の複数の取組がどのように関係しながら安全・安心な仁淀川につながっていくかを伝えるために、【コラム 「川の安全教室in仁淀川」の取組】を追加
- ・P24 「危険箇所マップによる情報提供」を取組として記載するとともに、どのようなものがあるかがわかるように画像で例示した。
- ・P25 「学校での環境学習の実施」を「学校での環境学習や川に親しむ機会づくりへの支援」に変更。また、学校が授業として実施しやすいように情報を整理した「調べ学習ハンドブック」の作成や実施への支援を記載
- ・P25 「図4-5 仁淀川で水生生物調査を行った割合」「図4-6 仁淀川で水質調査を行った割合」に平成30年度に調査した結果を追加
- ・P26 「水質マップによる情報発信」を取組に加えるとともに、水質マップがイメージしやすいように画像で例示した。
- ・P26 地域の協力により体験学習を実施した事例として、【コラム 伝統漁法 「シャクリ漁」の体験】を追加

仁淀川清流保全計画改訂内容

第4章 取組内容

テーマ：水文化を継承する

- ・ P27 水文化とはどのようなものかの説明を追加した。
- ・ P27 水文化の定義を元に流域固有の水文化について見直した。また、課題を追記した。
- ・ P28 【コラム 鎌田井筋をテーマにした小学校へのお出前授業（土佐市）】を追加
- ・ P28、29 「グリーンツーリズム活動の推進」を「地域の営みや伝統文化に根ざした暮らしの維持」に変更。
市町村ヒアリングや仁淀ブルー観光協議会ヒアリング結果から「グリーンツーリズム」としての活動が弱いこと、また、現計画において、事例が「RURAL（るーらる）高知」の発行のみであったことから、見直しを実施。文化を守るためには地域で人が暮らし続けることが重要であることから中山間地域対策を中心に暮らしを守る施策に内容を変更し、参考データとして「集落活動センターの設置数（P28）」「中山間地域等直接支払事業の協定数・協定面積（P29）」「特用林産物生産実績（P29）」を追加した。
なお、「テーマ：豊かな水量を確保・維持する」の「耕作地の保全」を「地域の営みや伝統文化に根ざした暮らしの維持」に統合した。
- ・ P29 「仁淀川にまつわる民話や伝説の収集」を「仁淀川にまつわる伝承の収集及び活用」に変更
- ・ P30 【コラム にこ淵の伝説（いの町）】、【コラム 農作業での濁水を川に流さないようにする伝承（いの町上八川地区）】を追加

テーマ：川本来の生態系を取り戻す

- ・ 「多自然川づくりの実施」を削除。
「多自然川づくり基本方針（平成18年国土交通省）」において「多自然川づくり」はすべての川づくりの基本であり、すべての一級河川、二級河川及び準用河川における調査、計画、設計、施工、維持管理等の河川管理におけるすべての行為が対象」とされていることから、施工だけを取り上げて取組とするのは適切でないため。
- ・ P31 「水生生物や水生植物の生息調査の実施」を「自然環境調査の実施」に変更。
- ・ P32 【コラム 奥田川の絶滅危惧種を見守る地域の人々（いの町）】を追加
- ・ P33 「川に棲む動植物の繁殖対策」を「生物多様性の確保に向けた取組の実施」に変更。
- ・ P33 「外来種拡大防止に向けた情報発信」を取組に追加
- ・ P33 【コラム 地域連携での外来種駆除の取組】を追加
- ・ P34 「水辺林の保全と適正な管理」を追加（「テーマ：美しい景観を保全する」の「水辺林の適正な整備」を移動させるとともに修正）
- ・ P34 水辺林の生物多様性の保全上の役割についてわかりやすく伝えるため、【コラム エコトーン（移行帯）としての水辺林】を追加

仁淀川清流保全計画改訂内容

第4章 取組内容

テーマ：美しい景観を保全する

- ・ P35 「[仁淀川一斉清掃の日]の制定」を「[仁淀川・環境の日]の啓発・一斉清掃等への参加呼びかけ」に変更。
- ・ P35 「表4-2 仁淀川一斉清掃の実績（ごみ回収量と参加人数）」にデータを追加
- ・ P36 「[清掃活動+a]の検討及び実施」を取組として追加
- ・ P36 「清掃活動+a」の事例紹介として、【コラム ごみ勉強会】を追加
- ・ P36 「仁淀川へ遊びに来る人へのマナーアップ運動の啓発・広報」を「河川利用者のマナー向上に向けた取組の実施」に変更。
- ・ P36 「事業者との連携による啓発の実施」を具体的な取組として追加
- ・ P37 「事業者との連携による啓発の実施」の事例として仁淀川漁業協同組合のHPを紹介。
- ・ P37 【コラム 波川の河川敷のレジャーごみの現状（いの町）】を追加
- ・ P38 「河川ごみマップ等による情報発信」を具体的な取組として追加するとともに、事例として「仁淀川ゴミマップ（高知河川国道事務所）」を紹介
- ・ P39 「上下流の連携による学べる機会づくり」を追加。
- ・ P40 「仁淀川における水辺の環境保全活動の普及促進」に「おもてなしの水辺創生事業の取組」を追加
- ・ P40 「[協働の川づくりパートナー協定]による取組」を項目立てするとともに、内容の説明及び「図4-12 協働の川づくりパートナーズ協定の仕組」を追加。
- ・ P40、41 「仁淀川流域を対象とした協定を締結している環境先進企業」「高知県内を対象とした協定を締結している環境先進企業」を見出しとして追加
- ・ P41 「仁淀川流域を対象とした協定を締結している環境先進企業」に「有限会社高知アイス」を追加
- ・ P41 「仁淀川の清流保全に関する寄付事業」を追加し、「GREAT EARTH 高知仁淀ブルーライド」からの寄付を紹介

テーマ：豊かな水量を確保・維持する

- ・ P43 取組の「森林組合・森林ボランティアを活用した森林整備」を「小規模林業実践者・森林ボランティアを活用した森林整備」に、「地球温暖化対策に着目した森林整備」を「企業、関係団体との協働による地球温暖化対策に着目した森林整備」に変更
- ・ P44 「表4-4 間伐実績」「表4-5 混交林に向けた施業の実績」「表4-6 協働の森づくり事業を活用した森林整備実績」にデータを追加
- ・ P44 「自伐林家等林業機械レンタル実績」を参考データとして追加
- ・ P45 「表 4-8 森林保全ボランティアへのチェーンソー支給による森林整備面積」にデータを追加
- ・ P45 【コラム 団体による植樹の取組】を追加
- ・ 「高知県J-VER制度を活用した いの町森林整備実績」は今後実施する計画が無いことから削除

仁淀川清流保全計画改訂内容

第4章 取組内容

テーマ：排水・汚水処理対策を進める

- ・ P48 「環境基準AA類型」の注釈を追加
- ・ P49 「生活排水対策実績（表）」を「表4-9 汚水処理人口普及率」に変更するとともに最新データに更新
- ・ P49 「家庭での環境保全対策についての情報発信」の事例を最新のものに変更

第5章

- ・ P51 仁淀川清流保全協議会の役割及び流域全体に活動を広げていくための情報発信及び啓発について追記

巻末資料

- ・ P56、57 「第4章 取組内容」の取組一覧
- ・ P58～69 取組のうち進捗管理を行うものの線表
- ・ P70 仁淀川水質絵図
- ・ P71 仁淀川における重要種
- ・ P72、73 【コラム 地域連携での外来種駆除の取組】の図4-9